令和8年度第1回四万十町ケーブルネットワーク放送番組審議会

会議結果

日時：令和８年９月30日（水）13:00～14:00

場所：四万十町役場　３階　３Ａ

出席委員：中屋　建八（会長)、河本　司、野村　宏 、吉本　悦子、山本　由美 、

　　鳥海　竜飛

事務局　：戸田課長、坂本対策監、武内係長、竹村（以上　企画課）

　　四万十公社：大﨑課長

■会議次第

１　開会

２　会長 あいさつ

３　企画課長 あいさつ

４　議 事

（１）報告事項

1.　加入状況

2.　放送実績ほか

２-１定期放送　ニュース番組（しまんと放送室）概要および放送実績

２-２定期放送　ミニ企画番組（四万十うぉっちんぐ）概要および放送実績

２-３特別番組・他局番組

２-４生放送番組

２-５行政放送

２-６四万十町議会　定例会

２-７四万十町議会　臨時会

２-８高知県議会中継

２-９他のケーブルテレビ局への番組コンテンツ提供

２-１０その他のテレビ局での放送について

２-１１文字放送

２-１２データ放送

２－１３災害対応について

3.　自主放送の停波・放送事故・訂正放送報告ほか

３-１訂正放送ほか

３－２障害報告

4.　前回の審議会後の主な経過報告

４-１経過報告

４－２業務風景写真

（２）自主制作番組視聴

（３）質疑応答

５ 閉会

■会議結果（要旨）

４ 議 事

（１）報告事項

指定管理先の四万十公社より報告。

1. 加入状況

※資料をもとに説明

質疑応答

中屋会長：これまでのところで質問や意見はありませんか。

河村：加入状況っていうのは、多分 1 年、2 年経っても大きくは変わんないだろうね。
見通しとしては。

大﨑：そうですね。ここ数年、7400 件前後で推移していますので。

河村：今人口は 1 万 4000 台だね。世帯数は

大﨑：世帯数は 7700 程度です。

坂本：法人の契約とかもございますので、単なる個人さんの世帯っていうわけではないんですけど、世帯数は以外とここ 18 年で人口の減少に比べて減ってなく分散化されています

河村：独居老人も多いわけですね。

坂本：そうですね。若い方がアパート借りたり家を建てたりというのが多いので、人口よりは世帯数は完全比例して下がってるような感じではなく、微減という感じです。

大﨑：加入世帯という記載がありますけれども、坂本さんから説明あったように、事業所であるとか、あと公共施設、小学校とか、集会所とか、そういったものの数も含んでおります。一概には言えないんですけれども、90 パーセント近い加入率と思います。

※資料をもとに説明

2. 放送実績ほか
3. 自主放送の停波・放送事故・訂正放送報告ほか
4. 前回の審議会後の主な経過報告

質疑応答

中屋会長：これまでのところで質問や意見はありませんか。

野村：見逃した番組のアーカイブとかいうのはできるんですか。

大﨑：権利の問題で全部はできてないんですけれども、基本的に「しまんと放送室」と「四万十うぉっちんぐ」を放送終了後から 1 年間ホームページの方に公開をして、「見逃しウォッチング」というコーナーでやっております。

坂本：行政放送の方は、先ほど大﨑課長が説明してもらったとおり、四万十町公式 Youtube でずっと公開しております。

山本：最近見たケーブルテレビの感想ですけど、認定こども園の子どもたちの表情がすごい可愛かったです。あと、100 歳の長寿のは和やかな感じで良かったです。その時に、副町長は出ておりましたが、町長は出てなかったですけど、どうしてでしょうか。

大﨑：町長の方は窪川地域を中心に、副町長の方が大正・十和地域ということでした。撮影 OK だったのが大正地域だったので、副町長のみとなりました。

山本：そうなんですね。あと、「サンドイッチパーラー」コンサートを、何回か見ましたけど、みんなが会場（窪川四万十会館）に行くわけじゃないですので、ケーブルテレビの方に流してもらったら嬉しいです。

大﨑：ありがとうございます。このあと、そのシリーズの前々回の分をご覧に入れようかなと思ってるんですけれども、元々は窪川四万十会館の取り組みです。ただ、窪川四万十会館の方も四万十公社が指定管理で受けておりますので、同じ事業者の中で横の繋がりで、窪川四万十会館でやる催しをケーブルテレビの方でも活用しています。番組は 15 分でコンパクトに楽しめるというような趣旨でやっています。

山本：何回も見ました。

大﨑：ありがとうございました。

（２）自主制作番組視聴

～　行政放送 視聴中　～

大﨑：はい。というような内容で、ミソなのは役場の職員さんが自らこうやって出演されているところかなと思います。
技術的なところで言うと、これ２台のカメラを使って、ピンマイク３本使って撮ってますけど、基本これぐらいのロケだともう１人です。
人数少ない職員ですので、極力こう１人でできるようにっていう機材構成とかスキルアップっていうのを目指しています。所管課からどうぞ。

武内：　イベントの情報が結構知りたいという方がいらっしゃいましたので、今回イベントの情報を取り上げさせていただきました。7 月、8 月とかお祭りが多いですので、皆さんに行っていただきたいなという思いも込めまして、制作しています。

質疑応答

中屋会長：見ていただいた番組についての意見などありませんか？

吉本：ケーブルテレビさんって、職員さん何人ぐらいいらっしゃいますか？

大﨑：四万十公社でいうと 17 名なんですが、番組の方は 4・5 名ぐらいですね、私（大﨑課長）入れて、5 名かなっていうぐらいで、重なる時はケーブルの技術の方の職員を借りてきて、次の日撮影に行ってもらうという感じです。機材の問題があり、カメラの台数にも限りがあります。

吉本：普段お見掛けするのはカメラを持った数人しか知らなくて、たぶん事務所には女性もおられるんでしょうね。

中屋：ほかに質問ありませんか？では視聴にうつります。

～　コミュニティ番組放送 視聴中　～

大﨑：カメラ 4 台ないし 5 台ぐらい設置をして撮ってます。
あの、全部一眼レフ風のシネマカメラなんですけれども、レンズの付け替えが可能です。あとは音の集音にもこれはこだわってまして、マイクをどこの位置に置いたら 1 番いい音になるかと、マイクの種類を見極めながら、催しによって機材のラインナップを変えてます。

中屋：できるだけいい音楽をやってほしいよね。月に 1 回ぐらいは。

大﨑：大体月 1 ですね。

中屋：よかったよ、京都大学交響楽団もよかったです。

大﨑：はい、おかげさまで。

中屋：あれも座席がいっぱいだったよね。

大﨑：満席でしたね。

中屋：ほかにありませんか？

野村：昨日何時間かケーブルテレビでちょっと 1 つだけ気になったことあるんですけど、今コンサートで名曲の「花束」の予告をしてますよね。

大﨑：文字放送ですか？ポスターですか？

野村：ポスターです。あの中で 10 月 12 日月曜日とアナウンスしていて、実際の画面上には 10 月 12 日（日）になり、赤字の日になってたんですよ。
日曜日の日。それどうしてかなと思って、実際、窪川四万ト会館にポスター見に行っ

たら、窪川四万十会館のポスターは 10 月 12 日の（月）になっていた。
だから、ちょっと間違えたんじゃないかなと。アナウンサーの人は間違いなく 10 月 12 日月曜日って言っていました。

大﨑：わかりました。ちょっと確認をさせていただき訂正をさせていただきます。

中屋：ほかにありませんか？

鳥海：さっきの音楽の映像、初めて見てすごい音響にこだわっていて、感動してしまいました。もうこんな大画面で見ることもなくて、迫力がよかったです。
家のテレビって割と小さくなるかなっていうのがありまして、その字幕の大きさってどれぐらいの基準なのかなっていう、家庭で見ると細かくなるのかなっていうのが思うところです。

大﨑：正直これはなります。作り手の意図で。やっぱり高齢者の世帯も多いんで。アーティスティックな面で言うと、こうスタイリッシュに映像を邪魔したくないという作り手の思いもあります。ニュースはもっと徹底して字の大きさを統一して読める大きさにしてますけど、企画物に関してはある一定、作り手の意思もくんで判断してますっていうのが正直です。

鳥海：フォントサイズの基準はありますか

大﨑：ニュースは横がおおむね 20 文字以内とかで 2 行までとかっていうルール。
うちだけ NHK さんのルールを、基本的に準拠してます。

野村：すいません、もう 1 個だけですが。昨日見てて、生姜の作業風景がすごく良かったです。実際自分は 10 日ほどアルバイトしてて、生姜の作業の内容がわかるんで、特に見ました。また、四万十町には生姜だけやなくて、ニラとか養豚とかそういう特産物が色々あるんで、是非そういうのに触れて取り上げていただいたらいいかなと思います。

大﨑：ありがとうございます。多分、ニラについては、うちも過去の映像が、確かあります。
養豚も入りたいんですけど、なかなか衛生面で、感染症の問題で、豚舎に撮影がなかなか入れないっていうような事情もあってですね。
鶏も、これからの時期厳しくなり、農家さんの方が NG 出すパターンが多いです。

吉本：近くに養鶏屋さんが多いのですけども、真っ白いぐらい石灰をまいてますね。1 回鳥インフルエンザが起こったら、何羽も処分しないといけないので。

大﨑：そうですよね

中屋：1 回、四万十公社のこういうの編集するところへ（放送番組審議）委員会行って見学したいですね。

大﨑：是非。3 月（次の放送番組審議会）にいいですね。

吉本：何年もここに住んでも、四万十町通信の広報委員やったら、あの 1 つ広報ができるまでに凄い苦労されている。委員をやってみて初めて知るみたいな感じです。今日もここの審議会を初めて知りました。どうやって作成されているか知らん人が多いですよね。

すごい楽しみにしてますので、今後ともたくさん映像を作ってください。

大﨑：ありがとうございます。
それで言うと、旧道を行くシリーズがすごく人気でして、この間、うちの四万十社の評議委員会がありまして、その中では町境をなんか行ってほしいという話がありましたね。
この道はどこへ続いてるの。みたいなシリーズはどうかっていうようなご意見もいただいてるので、また参考にそういう普段見られない同じ四万十町の風景、届けられたらなと思ってます。

山本：野村委員さんがおっしゃった生姜の風景ですけど、あれ、自分の近くかなと思いました。なんか（画面の）下の方でもどこのどこか地域書いてくれたらどこか分か

るなと思いました。

それから、ドローンで映したあの風景ですね、四万十町の、すごく普段からいいと思います。

大﨑：ありがとうございます。

中屋　建八（会長）　54:53
今日はみなさん、意見出して頂いていい会でしたね。次回までケーブルテレビの内容を確認して、またこの場で話し合いできるようにお互い頑張りましょう。
これで終わります。